

令和6年度「生徒・保護者意識調査アンケート」集計結果

専修学校クラーク高等学院天王寺校

1 はじめに

学校自己評価を行う上で、生徒や保護者を対象とする評価を通じて、学校運営や教育内容等に対して生徒・保護者がどのような意見や要望を持っているかを把握し、今後の取組や自己評価に活用することが重要である。

このため、本校では、在籍する全生徒及び保護者を対象に、本校の教育に対する満足度を調査するための「意識調査アンケート」を Web アンケートツール「Forms」により実施している。令和6年度は昨年度に引き続き、本校の特に力を入れている教育について満足度を図るアンケートを実施した。

なお、アンケートの実施に当たっては、匿名性の担保に配慮する観点から無記名方式としている。

2 調査及び集計結果

生徒及び保護者に対し、以下の項目について、【1：とても満足している 2：満足している 3：どちらともいえない 4：あまり満足していない 5：全く満足していない】の五者択一方式で満足度調査を実施した。

令和6年度「生徒・保護者意識調査アンケート」集計結果

| | カテゴリー | 1年生 | 2年生 | 3年生 |
|-----|-----------------|-------|-------|-------|
| 生徒 | 教科学習への満足度 | 72.7% | 70.3% | 70.8% |
| | グローバル教育への満足度 | 70.4% | 71.3% | 68.5% |
| | 探究的な学びへの満足度 | 69.6% | 67.5% | 67.9% |
| | 生徒支援への満足度 | 71.3% | 70.0% | 74.1% |
| 保護者 | 担任の先生への満足度 | 88.0% | 81.4% | 85.6% |
| | 学校行事・学校生活への満足度 | 75.5% | 78.6% | 71.6% |
| | 前年度に比べてのお子様の成長感 | 82.4% | 79.7% | 79.9% |

3 考察

(1) 生徒意識調査アンケート

- ・教科学習やグローバル教育の満足度は、全学年ともに 70%前後であり高いとはいえないが、その要因の 1 つとして、学びの成果を強く実感できていないことがあると考えられる。今後は EdTech 教材を活用し、個別最適な学びと協働的な学びのサイクルを確立することで、学力の向上を図る。また、実用英語技能検定の取得支援を強化するとともに、国際的な課題に関する探究学習を導入し、グローバルな視点を持たせるように工夫していく。
- ・探究的な学びへの満足度は 67%前後と低調であり、成果を感じにくいことが課題である。今後は地域や大学との連携を拡充し、学習内容の一層の充実を図る。また、探究活動の意義を理解させるとともに、成果をポートフォリオとして整理し、進路活動に活用できるよう工夫していく。
- ・生徒支援への満足度は 3 年生で増しているが、これは、進路指導などにおいての個別相談が高く評価された結果であると考えられる。今後は 1、2 年生からキャリア面談やメンター制度を導入し、早期から安心して学校生活を送ることができる支援体制を築いていく。

(2) 保護者意識調査アンケート

- ・担任への満足度は、2 年生は他の学年より低くなっているもののどの学年も 80%を超える数値となっている。学級通信やオンライン連絡ツールを活用した情報提供を充実させるとともに、保護者会や面談を通して保護者との連携を密に取っていききたい。
- ・学校行事への満足度は 1、2 年生より 3 年生で低くなっている。学校行事と進路の決定に向けての活動が重なる 3 年生でも意欲的に参加できるように内容を工夫していききたい。また、行事の成果を動画などで保護者に共有することにも取り組んでいきたい。
- ・概ね 80%の保護者が生徒の成長を実感しているが、より多くの保護者に生徒の成長を実感してもらうために、探究活動やコース活動の内容を更に充実させるとともに、学習の記録や進路活動の進捗状況を丁寧に保護者に共有するなど、生徒の学校での活動の様子を常に伝えていく工夫をしたい。